

# 金澤北ロータリークラブ



1994年4月7日

第509号

例会日：木曜日 12:30～13:30  
 例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭  
 TEL<0762>52-2271 FAX52-2273  
 事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所  
 TEL<0762>22-2525 FAX24-2882  
 会長：飯野 健志 幹事：渡邊 聡  
 情報委員長：広岡 治樹 会員84名

## 文化の物差しとO.E.K.

石川県県民生活局次長 寺井 直則 氏



一言で、文化の物差しというと、通常、長さ、重さ、時間文化全体の物差しとは、全く違ったものであると思っていた。きたい。

この様なことで、文化については、言葉があいまいになっています。

文明と言う言葉は、古い言葉であり、その語源は明治の初めに“カルチャー”という言葉をもとに日本語で“文明開化”という言葉で表わし“文化”にしたといわれています。

人間の心の活動の中でも喜怒哀楽を表わす感情、何かに対する憧れ、すばらしいものに接した時の感動、祈りの精神活動を心の高度なる純粋な心の動き、これは他の動物にない部分であり、この部分を形に表わしていく過程と形とで出来上がったものが文化活動であると思います。又、

出来上がった成果をある程度分類、整理、システム化していった時にその総体を「文化」という言葉で表しているものと理解しています。今申し上げたことは、心が作り上げたものであるから、幻とか幻影に近いものであります。自分の心を形に表すことは、口で言うのは簡単であるが実際、そうでなくて、その過程では一定の修練、技法が必要であると思います。今年、菓子博が始まります。お菓子の世界でも同じであると思います。和菓子一つ作った時に、どんな形で、どんな色で、これを見た目に美しく素晴らしく見せて作り上げる…。これは職人達の長年の修練の成果でございます。従ってこのような文化的価値に対してどれだけの評価を今の社会はしているのかについては経済計算で計ることは出来ないと思います。同じような見方で、“人形浄瑠璃”とかオーケストラにも言えると思う。これを、事業として成り立たさなければならぬと思うと、どうしても一般的に音楽文化が薄らいでいくと思います。

ここで、金沢で、“オーケストラ・アンサンブル金沢”が出来て、5年を経過した訳であるが、その点について、感想を申し上げたいと思います。

- (1)ディレクターをはじめ、大方の人は大変素晴らしく日本一であると思う点
- (2)中央紙に少なくとも2ページから3ページ今まで掲載されており、それも広告ではなくて、記事である。これは金沢の文化を非常に全国的に宣伝している点である（宣伝するためにオーケストラを持っているかどうかは別にして）
- (3)オーケストラの維持費が年間7億円、収入は2億数千万円であり、民間のご支援でその不足分を補っている点である

今後共、オーケストラ・アンサンブル金沢に、ご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

## 職場訪問

職業奉仕委員長 山本 幸雄

天候にも恵まれた3月24日例会終了後、大野醤油醸造協業組合を見学させていただきました。昨年は福光屋さんの酒蔵につづいて食文化の探求と大変興味がありました。

古来の製作工程だと2年を要するのを現在は半年で製造されコストダウンを国が方向だてているという、一長一短を伺い知る事が出来ました。なにげなく食べている醤油も長年のキャリアと新しい技術の必要性を感じ今後食したいと思います。なお本江様には下見いらい、お世話になり、参加者全員におみやげまで心遣いしていただき感謝いたしております。又飯野会長をはじめ会員諸兄にはお急がしいところ御出席いただき委員会活動に御協力をたまわり有難うございました。



〈参加者〉 二塚 本江 市川 飯野  
石丸 木村 越田 小杉(守)  
小杉(善) 中田 中谷 大村 奥田  
乙村 坂口 坂下 佐藤 関  
沢田(光) 塩村 高島 滝 俵  
卯野 山岸 山本 吉田 吉岡  
銭亀 坂下夫人

## クラブの皆さんへ

交換留学生 磯野 亜希

こんにちは！私はN.Y.州のフェアポート・ハイ・スクールに通いはじめて、6ヶ月になります。N.Y.州の雪は、地面に凍りついてしまったかのように、去っていかうとはしません。今日、3月2日なのに今夜又、ストームが来るとニュースで言っています。私は1月の初めから、学校のスキークラブで楽しんでいます。毎週木曜日の午後4時から夕食も含めて、10時まで山で勝手に遊んで良いというのですが、なんて長い!!と思いませんか。案の定、次の日の朝はホストマザーに起こされて「I'm coming～」と冴えない声でベッドの中から叫んでいます。スキークラブでは、ドイツからの留学生のミッキーとアメリカ人のアマンダの3人で滑っています。

ミッキーは「ドイツでは道路でもスキーをしていたのよ」と言うだけあって、狭い範囲で腰だけをクイクイと動かして滑り、彼女の姿はあっという間に豆つぶのようになります。

アマンダの方は死んでしまったのかと思うほど遅く、私は広いプリストルの山で一人で滑っているような気分でした。その後は、ミッキーと私の二人で滑る事になり、私は只ただ彼女の後について行くだけです。でも数日後ホストブラザーと、従兄とで滑った時、「今度からアキの事をカマカジアキと呼ぶわ。」と言われてしまった。カマカジとは第二次世界大戦の時に使っていた小型飛行機のことです。ミッキーとスキーをしているうちに、知らず知らず滑るスピードが速くなった様です。

夜の照明はそれほど明るくなく、あるコースを滑っていた時、他人を避けきれずおもいきりスキーブーツにひざをぶつけ、次の日の私のひざには、黒+茶+紫+黄+赤+緑…と今まで見た事のない大きなあざが、丸く立派に出来ていました。家の中では、いつも短パンをはいているのですが、それを見たホストファザーは「長ズボンをはきなさい、そんな汚いあざを見せないでくれ」と意地悪を言ってきます。あっ、思い出しました。ホストファザーはいつも寝言で「ワー」と叫ぶので

すが、この前彼は犬の夢を見たらしく夜中に「ワン、ワン」と叫んだらしいのです。それでその日一日は、みんなで、彼のことを犬の様に扱い、私もいつもの仕返しとして「Nugget! (家で飼っている犬の名前) お手!」と言って手をさしのべたりして遊びました。そしてホストマザーはさっそく翌日犬がプリントされたTシャツを彼に買って着せていました。

さて2月18日から28日のバケーションには、気の狂った様な寒さのN.Y.を逃げ出して、フロリダのおじいちゃんの家へ行きました。

フロリダの空港内には木が茂り、壁の向こう側には、何色もの色を身に着けた魚達が夏を装っていました。サラソタのおじいちゃんの家はとても広く、部屋のしきりが少なく、窓も大きくて、窓から見えるメキシコ湾の眺めはすばらしく、「はよ、来まっしや」と呼んでいるようでした。さっそくにバッグを開けて水着に着替えすっ飛んで行きました。冷たい水と塩のきいた海水に、体がしびれてしまいました。白い浜の砂は海水にやわらかく溶けていて、“おか湯”を思い出させました。

学校の図書館で雑誌を読んでいた時、フロリダのニックネームは「サンシャインState」と書いてあったけどその通りです。ちなみにN.Y.州は「エンパイアState」です。貝もよく見ると、かわいくてパーキング場の砂利も全部貝だったり…。街は、ちょっとした買い物には、気軽に水着で行けたりと、とても慣じみやすい所でした。

学校の方では一月の初めにマルチカルチャーという行事があり、私は高校の体育館で着物を着て、生徒の名前を日本語で書いてあげていたら「チャンネル9」というシールが貼られたマイクとカメラが私の横に立って、電源が回っている!! ニュースキャスターの容赦のない質問に私は汗をかきながら死ぬ思いをしました。その夜のニュース番組で放送され、ビデオにしっかり撮り「これ私よ! 私!!」と言っては何度も巻き戻しをして見ました。

又、私が幼稚園に行つて折鶴の折り方を教えている時の写真が、次の日の地元新聞の第一面に大きくのっけていて、さっそくホストマザーに数枚コピーしてもらい、友達に送りまくっています。その他には美術の時間に作った私の作品が学校のショーウィンドウに飾られたり、版画が市の図書館に展示されるなど、自分で自分にトロフィーをあげたい程頑張っています。

ところで今居るホストのMR. GRESH家に一年間滞在出来る事になりました。とてもすてきな家族で私にとっては、何よりラッキーなことです。あと六ヶ月、「帰りたくない」と泣いている夢を見たり、「はよ帰りたい」とつぶやいたり、と複雑な気持ちです。私を支援して下さいている北ロータリーの皆様に感謝して毎日を過ごしています。

ありがとうございます。



Paper wings

Aki Isono, a Japanese exchange student at Fairport High School, shows students how to make an origami bird at Saturday's Multicultural Family Fun Fair at Brooks Hill School. Representatives from 20 countries demonstrated songs, dances, and crafts at the fair. (Photo by Eric Jakubauskas)



